

# 事業報告

令和元年度 公益社団法人さいたま観光国際協会事業報告書  
(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

## 1 設立目的及び概況

### (1) 設立目的

さいたま市及びその周辺地域における観光、コンベンション事業及び国際交流、国際協力事業の振興を図り、文化向上と、多文化共生の社会づくりを促進し、地域社会の発展とともに、国際化に資することを目的とする。

### (2) 概況

① 設立年月日 平成3年4月6日(平成25年10月1日公益社団法人へ移行)

② 基本財産 2億2,020万円

#### ③ 実施事業

内外観光客及びコンベンションの誘致促進、開催支援並びに広報宣伝

観光及びコンベンションに関する調査研究並びに情報の収集・提供

観光及びコンベンション振興のためのイベント等の開催並びに観光・物産の開発・振興

国際交流、国際協力に関する多文化共生事業

国際交流センター、観光案内所その他関連施設等の管理及び運営

その他この法人の目的を達成するために必要な事業

## 2 役員等の状況

### (1) 役員等の人数(令和2年3月31日現在)

会 長 1人  
副 会 長 2人  
専務理事 0人  
常務理事 2人  
理 事 24人  
監 事 3人

### (2) 理事・監事

① 事業年度中の理事・監事の異動は、次のとおりである。

異 動 年 月 日	役 職	氏 名	異動事項
令和元年6月24日	会 長	清 水 志摩子	任期満了
令和元年6月24日	常務理事	坂 野 豊 樹	任期満了
令和元年6月24日	理 事	天 田 裕	任期満了
令和元年6月24日	理 事	國 谷 桂 子	任期満了
令和元年6月24日	理 事	富 永 庄 蔵	任期満了
令和元年6月24日	理 事	丸 弘	任期満了
令和元年6月24日	理 事	吉 沢 浩 之	任期満了
令和元年6月24日	理 事	蓬 田 潔	任期満了
令和元年6月24日	会 長	筑 波 伸 夫	就 任
令和元年6月24日	常務理事	中 島 マリ子	就 任
令和元年6月24日	理 事	新 井 康 裕	就 任
令和元年6月24日	理 事	大 森 好 治	就 任
令和元年6月24日	理 事	桑 原 一 男	就 任

令和元年6月24日	理 事	小 宮 康一郎	就 任
令和元年6月24日	理 事	染 谷 典 子	就 任
令和元年6月24日	理 事	千 枝 直 人	就 任
令和元年12月6日	専務理事	阿 部 順 平	死 亡

② 令和2年3月31日現在の理事・監事は次のとおりである。

役 職	氏 名	就任年月日
会 長 (代表理事)	筑 波 伸 夫	令和元年6月24日
副 会 長 (代表理事)	佐 伯 鋼 兵	平成26年6月27日
副 会 長	中 村 裕 二	平成30年6月26日
常務理事	吉 住 俊 幸	平成29年6月20日
常務理事	中 島 マリ子	令和元年6月24日
理 事	新 井 久 夫	平成28年6月20日
理 事	新 井 康 裕	令和元年6月24日
理 事	泉 名 宣 男	平成26年6月27日
理 事	岩 渕 均	平成25年6月24日
理 事	大 森 好 治	令和元年6月24日
理 事	金 子 義 人	平成26年6月27日
理 事	久 世 晴 雅	平成25年6月24日
理 事	桑 原 一 男	令和元年6月24日
理 事	小 宮 康一郎	令和元年6月24日
理 事	染 谷 典 子	令和元年6月24日
理 事	大 郷 恒 吉	平成29年6月20日
理 事	高 橋 三 男	平成25年6月24日
理 事	多 胡 彰	平成30年6月26日
理 事	田 中 徹 夫	平成25年6月24日
理 事	千 枝 直 人	令和元年6月24日
理 事	中 村 隆 志	平成27年6月23日
理 事	橋 本 和 久	平成25年6月24日
理 事	濱 野 博 美	平成25年6月24日
理 事	東角井 真 臣	平成25年6月24日
理 事	日 野 俊 彦	平成25年6月24日
理 事	本 田 秋 満	平成25年6月24日
理 事	宮 城 利 久	平成30年6月26日
理 事	山 口 宏 樹	平成26年6月27日
理 事	山 崎 均	平成29年6月20日
監 事	荒 井 伸 夫	平成25年6月24日
監 事	井 原 實	平成25年6月24日
監 事	鈴 木 孝	平成25年6月24日

### 3 会員数の状況

種 類	前年度末	当年度末	増 減	備 考
正会員 うち法人・団体会員	899 (765)	881 (755)	(△18) (△10)	法人・団体 入会31 退会41
うち個人会員	(134)	(126)	(△8)	個人 入会4 退会12
賛助会員	347	339	(△8)	入会91 退会99

### 4 理事会及び総会の開催

#### (1) 理事会

開催日時	議決事項等
令和元年6月3日 (第1回理事会)	(議題) 議案第1号 平成30年度 事業報告について 議案第2号 平成30年度 決算報告について 議案第3号 令和元年度補正予算について 議案第4号 役員(理事・監事)の選任について 議案第5号 諸規則の一部を改正する規則の制定について 議案第6号 功労者表彰の選考について 議案第7号 令和元年度定時総会の開催及び日程について
令和元年6月24日 (第1回臨時理事会)	(議題) 議案第8号 正副会長、専務理事、常務理事の互選について 議案第9号 顧問の選任について
令和2年3月25日 (第2回理事会) ※書面決議	(報告事項) 令和元年度事業執行状況について (議題) 議案第10号 令和2年度 事業計画について 議案第11号 令和2年度 収支予算について 議案第12号 諸規則の一部を改正する規則の制定について

#### (2) 総会

開催日時	議決事項等
令和元年6月24日 (定時総会)	(報告事項) 平成30年度事業報告 (議題) 議案第1号 平成30年度決算報告 議案第2号 規則の一部を改正する規則の制定について 議案第3号 役員(理事・監事)の選任について

### 5 職員の状況

令和2年3月31日現在の職員の状況は、次のとおりである。

区 分	事務 局長	副参与・ センター長	主幹	主査	主任	主事	契約・臨時	合計
事務総括	1							1
総務担当			1				1	2
内総務・財務G			1		1	1		3
会員サービスG			1					1
SSCへ出向			1	1	1			3
観光事業担当		1					1	2
内イベント事業G			1	2	2	3		8
内MICE推進事業G				2				2
内誘客事業G				1		2		3
内販売G			(1)					(1)
国際交流センター		1	1				5	7
観光案内所							11	11
合 計	1	2	6	6	4	6	18	43

※販売G主幹は会員サービスG主幹の兼務

## 6 事業の実施状況等

### 【公益目的事業】

#### (1) 観光等振興事業(公益目的事業1)

##### ■観光事業

###### ①観光振興事業

地域観光振興事業・団体等への助成・支援 (26団体)

各種観光セールス、観光キャンペーン等への参加

はこだてグルメサーカス2019 (9月7日・8日 [函館市])

ITF2019台北国際旅行博 (11月6日～10日 [台北市])

さいたま市観光PR (11月11日～13日 [JR大宮駅])

JR東日本キャンペーン 観光キャラバン(2月5日 [JR横浜駅])、ラグビーW杯等計9件  
花の名所の維持管理 (5箇所)

観光ボランティア団体との連携 (3団体)

小江戸川越観光協会と観光連携協定の締結 (5月15日)、(一社) 秩父観光協会との観光連携

###### ②推奨土産品認定事業

「さいたま推奨土産品」として推奨する全53品と、内「金賞」土産品7品のPR  
販売経路の拡充 (新たに「まるまるひがしにほん」等で販売)

###### ③観光イベント事業

岩槻城址公園桜まつり(4月6日・4月7日 入込約30,000人) (前年30,000人)

さくら草まつり(4月13日・14日 入込約32,000人) (前年11,800人)

大宮薪能(5月25日・26日 入込約2,029人) (前年2,057人)

人形のまち岩槻朝顔市(7月7日 入込約4,000人) (前年5,000人)

浦和まつり前夜祭(7月12日 入込294人) (前年300人)

与野夏祭り(7月13日・14日 入込約120,000人) (前年155,000人)

浦和まつり中山道会場 音楽パレード(7月14日 開催中止) (前年40,000人)

浦和まつり中山道会場 浦和おどり(7月14日 入込約20,000人) (前年60,000人)

浦和まつり中山道会場 みこし渡御(7月21日 入込約120,000人) (前年110,000人)

さいたまるしえ in さいたまクリテリウム(10月26日・27日 入込84,880人) (前年56,300人)

十日市(12月10日 入込約200,000人) (前年250,000人)

十二日まち(12月12日 入込約130,000人) (前年110,000人)

さいたまるしえ with さいたまマーチ(3月28日・29日 開催中止) (前年12,400人)

###### ④観光に関する調査研究

既存の観光事業の分析・検証

さいたま市観光振興ビジョン実現に向けた協力

さいたま市 東日本連携事業への協力

###### ⑤事務局受託事業

ばらまつり(5月18日・19日 入込約160,000人) (前年155,000人)

大宮夏まつり前夜祭(7月11日 入込319人) (前年341人)

さいたま市花火大会 大和田公園会場(7月28日 入込約100,000人) (前年100,000人)

西口夏まつり(7月31日 入込約20,000人) (前年20,000人)

スパークカーニバル(8月1日 入込約180,000人) (前年180,000人)

中山道まつり(8月1日・2日 入込約250,000人) (前年250,000人)

さいたま市花火大会 東浦和 大間木公園会場(8月10日 入込約80,000人) (前年80,000人)

さいたま市花火大会 岩槻文化公園会場(8月17日 入込約45,000人) (前年45,000人)

令和元年度 合計1,578,522人 (参考：30年度 1,673,198人 前年比△5.7%)

## ■コンベンション事業（MICE推進事業）

### ①誘致支援事業 支援件数66件 参加者合計52,486人（前年49件 33,359人）

コンベンション主催者へのセールス活動の推進

各主催者団体のホームページ等により、開催地並びに役員名等の情報を分析し、本市開催の可能性が高い団体に対して、埼玉県内のキーパーソンが所属する病院・大学や団体本部・支部を中心に誘致セールスを行った。

観光マップ、コンベンションバッグ等の提供

観光マップ60件・28,564部、観光ガイドブック35件・15,469部、観光情報誌「タマてばこ」16件・5,708部、コンベンション参加者便利帖「ランチ&宴会&グルメ」39件・16,713部、さいたま推奨土産パンフレット4件・2,912部、OMIYA BONSAI VILLAGE MAP1件・2,500部、コンベンションビニールバック43件・16,882枚、コンベンション不織布バッグ11件・2,591枚

インターネットによるコンベンション情報の発信

市内で開催予定の関東ブロック規模以上のコンベンションを掲載した。

会場最寄駅（浦和駅、大宮駅、さいたま新都心駅構内）にポスターの掲出

コンベンション開催時における臨時土産品販売所、臨時クラフトビール販売コーナーの出店手配

産業観光、アトラクション情報等の提供

会場・市内観光地等の写真やPR動画の貸出

レセプション等のユニークな会場の紹介・新規発掘のための交渉

本市ならではのユニークメニューとして、式典や懇親会が行える会場施設（鉄道博物館・埼玉スタジアム2002）を紹介するとともに、新たな会場施設の発掘のため、対象となりうる施設との交渉を行った。

会員企業の紹介

国際会議における文化体験プログラム（同伴者プログラム）の紹介・手配

国際会議における文化体験プログラム開催時の通訳ボランティアの紹介・手配

その他コンサルティング

### ②IME出展事業

国際MICEエキスポ「IME2020」への出展

2月26日（水）東京国際フォーラムにおいて、（一社）日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー（JCCB）、日本政府観光局（JNTO）主催の「第29回国際MICEエキスポ（IME2020）」へ市内コンベンション施設の協力のもと出展し、さいたまブースに来場したバイヤー8団体と商談を行った。（MICEバイヤー351名）

### ③施設見学会事業

ソニックシティ施設内覧会への協力

7月24日（火）、ソニックシティ主催の施設内覧会へ職員を派遣し、支援内容の説明を行った。

コンベンション施設見学会の開催

1月27日（月）、新規顧客の獲得を目的に、主催者・エージェンツ等を対象とした施設見学会（ソニックシティ・パレスホテル大宮・埼玉会館）を開催し、9団体14名の参加があった。

### ④情報収集事業

コンベンションデータ（顧客名簿・開催意向等）の管理及び更新

分析調査及び誘致セールスで得た各種情報をデータベース化し、系統的セールス活動が行えるよう管理・更新を図った。

観光・コンベンション団体、関係機関との広域連携による情報収集

JCCB主催のコンベンション・ビューロー部会、研修会等に参加し、他市ビューローや業界関係者との情報交換を行った。

コンベンション推進団体による各種統計・アンケート調査等に対し随時協力した。

## ⑤経済波及効果調査事業

### コンベンション開催による経済波及効果調査の実施

平成30年度における年間開催件数を調査し、コンベンション事業に対する行政及び民間の理解と協力を働きかけるため、年間経済波及効果報告書を作成した。

### 個別コンベンション開催実績調査の実施

本市で開催されたコンベンションを計数的に把握するため、令和元年度に開催された個別のコンベンション(4件)における経済波及効果を調査した。

## ⑥コンベンション開催助成金制度の実施

本市における更なるコンベンション誘致及び開催の推進を図るため、「コンベンション開催助成金」として、15件14,391,000円(前年17件14,420,000円)を助成した。さらに、本市観光の魅力発信強化を図るため、「アフターコンベンション開催助成金」として、10件1,166,000円(前年3件481,000円)を助成した。

## ■広報宣伝事業(誘客事業)

### ①広報宣伝活動

観光プロモーション「タマてばこ」の実施(動画・フリーペーパー 年2回6万部)

日英併記観光地図「Saitama City Visitors Map」の発行(7万部)

テレビ、新聞・タウン誌、Web等の取材対応(170件)(前年137件)

プレスリリース

ご当地グルメや、ご当地キャラクターなどの紹介

大宮盆栽プロモーション、海外からの訪問受け入れ(Facebookフォロワー10万以上)。

訪日グローバルキャンペーンによる大宮盆栽コンテンツ造成事業への協力

秩父観光協会・小江戸川越観光協会との協定締結記念事業(5月17日～19日[まるまるひがしにほん])

### ②インターネットによるシティセールス

ホームページ「web S@i's(うえぶさいず)」及びブログ「もぎたてさいたま情報」による国内外への誘致・PR(2,135,182ページビュー)(前年2,009,461ページビュー)

ツイッター「@SaitamaTIB」やFacebookページなどソーシャルネットワークを活用した、観光情報の発信(ツイッター9,355人、Facebook2,976人、Instagram1,396人)

訪日観光客向け多言語サイト(Saitama City near Tokyo Visitors guide)の公開

## ■観光案内所運営事業

### ①観光案内所等の管理運営

大宮駅観光案内所(JR大宮駅東西自由通路内)、さいたま新都心観光案内所(JRさいたま新都心駅東西自由通路内)、浦和観光案内所(アトレ浦和内)、岩槻観光案内所(東武岩槻駅自由通路内)の運営。

・観光案内業務

・各種パンフレット配布業務

・ビジット・ジャパン案内所のネットワークによる情報収集・発信

## (2)多文化共生、国際相互理解促進事業(公益目的事業2)

## ■国際交流事業

### ①国際推進事業

#### 多言語生活相談

英語、中国語、韓国・朝鮮語による生活相談や各種行政情報の翻訳を実施。

相談日及び件数：中国語(毎週火曜日) 17件(前年:19件)、英語(毎週水曜日) 0件(前年:3件)、

韓国・朝鮮語(毎週木曜日) 4件(前年:2件)

簡易生活相談(毎週月曜日～木曜日) 84件(前年:54件)

## ボランティア(通訳・翻訳、ホストファミリー、イベント)派遣事業

市等の公的機関からの要請に基づき、通訳ボランティアの派遣、ホームステイ受入れ家庭の紹介及び国際交流イベント等へのイベントボランティアの募集と派遣を行った。

ボランティア区分	登録者数	依頼数
通訳・翻訳ボランティア	619人(前年:591人) (20言語 延べ747人 前年:20言語 延べ707人)	通訳75人 (前年:26人) 翻訳104人 (前年:91人)
ホストファミリー	346家庭(前年:318人)	78家庭 (前年:46人)
イベントボランティア (IECボランティア)	登録者実数937人(前年:813人)	463人 (前年:638人)

## 外国人への日本語支援事業

在住外国人のための日本語教室を毎週金曜日に国際交流センター(浦和コース)及び大宮区役所内(大宮コース)で開催。日本語習得の支援や行政・生活情報を提供した。

参加者総数:5,613人(前年:5,871人)(学習者2,380人 前年:2,804人、要保育児235人 前年:232人、スタッフ等2,998人 前年:2,835人)

### ○教室別内訳

《浦和コース》4,364人(学習者1,887人、要保育児203人、スタッフ等2,274人)

午前保育付コース 1,968人(学習者720人、要保育児203人、スタッフ等1,045人)

子どもコース 1,064人(学習者507人、スタッフ等557人)

夜一般コース 1,332人(学習者660人、スタッフ等672人)

《大宮コース:午前保育付コース》1,249人(学習者493人、要保育児32人、スタッフ等724人)

## 外国人市民に向けた地域・生活情報の提供(多言語生活情報誌「ぶらら」の発行)

外国人市民に向けた、地域・生活情報誌を5言語(日本語、英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語)で発行した。(66号:6月、67号:7月、68号:9月、69号:12月、70号:3月、計11,464部発行)

## 国際友好フェア

市民及び市内在住外国人等による各種展示・発表等を行い、国際交流や異文化理解の推進につとめた。

日 程:5月3日(祝)、4日(祝)

会 場:市民の森・見沼グリーンセンター

参加団体:56団体(28の国と地域)

来場者数:約55,000人(前年:約55,000人)

## 外国人による日本語スピーチ大会

在住外国人と市民の相互理解を深めるため、2月1日(土)に「これ、国に持って帰りたい!!」をテーマに市内在住、在勤、在学の外国人による「日本語スピーチ大会」を開催した。

(会場:浦和コミュニティセンター多目的ホール、発表者:9人、来場者:287人 前年:242人)

## 姉妹都市交流事業

31年度はスポーツ少年団受入事業として、アメリカ合衆国リッチモンド市から野球少年団と、メキシコ合衆国トルーカ市からサッカー少年団を受入した。

### 【サッカー少年団トルーカ市受入】

日 程:7月16日(火)～7月23日(火)

人 数:22人(サッカー団16人、役員5人)

※トルーカ市代表団12人が同行

### 【野球少年団リッチモンド市受入】

日 程:7月25日(木)～7月31日(水)

人 数:28人(野球団18人、役員9人)

市民訪問団派遣事業として、アメリカ合衆国バージニア州リッチモンド市への市民訪問団の派遣を計画したが、参加者数が満たないため中止とした。

また、海外都市の訪問団の受入事業を行った。

#### 【鄭州市】

日程と人数：4月18日（木） 5人 ※行政視察として

6月28日（金） 中高生90人、教師6人 ※訪日修学旅行として

10月31日（木） 6人 ※行政視察として

#### 国際ふれあいフェア

さいたま市の姉妹・友好都市を中心に、各国の文化などを紹介し、異文化理解の推進を図った。

日 程：10月14日（月）

会 場：浦和駅東口駅前市民広場

参加団体：19団体（15ヶ国）

来場者数：約5,000人（前年：約8,000人）

#### ②国際交流事業

##### 国際交流センター情報誌発行

国際交流センター情報誌「IEC News」を発行。国際交流センターの事業や各種国際交流関係の情報を提供した。（4回発行 6月、9月、12月、3月 各号2,500部発行）

##### ボランティア養成講座

引き続き2020年東京オリンピック・パラリンピックを見据え、更なる実践的な養成講座を1回行った。「大宮観光体験ツアー ～武蔵一宮氷川神社 境内めぐりを通して考える外国人への伝え方～」（11月23日 参加者38人）、

また防災については、国際友好フェア会場における応急手当体験（5月3日、4日 来場者744人）、さいたま市総合防災訓練参加（9月1日 参加者11人）、国際ふれあいフェア会場における応急手当体験（10月14日）を実施し、また、埼玉県・さいたま市国民保護実働訓練（10月30日台風のため中止）、大宮駅周辺帰宅困難者対策訓練（11月20日 参加者3人）に参加した。

##### ユース国際ボランティア養成

国際交流や国際協力に興味のある学生を中心とした、ユース国際ボランティアメンバーによる養成事業として、ユース交流会を開催して日本人学生と留学生が自由に歓談して交流する場を設定した。6月23日：「ウエルカムカフェ～ユースはじめましての会～」（参加者27人）、9月8日：体験講座「絵手紙・習字で国際交流」（台風のため中止）、11月14日：国際訪問企画「ニュージーランド大使館&JICA 地球ひろば訪問（参加者：11名）、12月15日：「世界のお菓子でTea Time～楽しい交流で素敵な2020年につなげよう！」（参加者30人）、3月15日：「絵手紙・習字で国際交流」（コロナのため中止）

##### 次世代育成セミナー

高校・大学生世代を対象に、日本の伝統・文化やさいたま市の魅力を理解するイベント等を通じて、さいたま市における青少年育成のための国際社会への意識の高揚を図るため、3月15日（日）「Global Session ～だるま作りを通じて国際交流しませんか？～」を開催した。（コロナのため中止）

##### 日本語ボランティア養成講座

市内の日本語ボランティア教室の活動支援を目的に、日本語ボランティア養成講座を開催。

（入門編） 日 程：5月10日（金）～28日（火）計6回

会 場：コンナール10階第13集会室

参加人数：受講生62人 スタッフ延べ35人

（経験者編） 日 程：Aコース 12月4日（水）、Bコース 12月11日（水）、Cコース 12月18日（水）  
計3回

会 場：コンナール10階第13集会室

参加人数：受講生：12/4 47名、12/11 39名、12/18 42名、スタッフ延べ27人

（特別講座） 日 程：3月13日（金）



会 場：コムナーレ10F第13集会室  
(コロナのため中止)

#### 日本語国際センター研修生との交流

日本語国際センターの研修生と会員との交流を通じ、研修生にさいたま市への親近感を深めることを目的として、国際交流基金日本語国際センターを会場に、交流会を10月8日(火)(参加者:106人 前年:121人)と、1月28日(火)(参加者:134人 前年:111人)の2回実施した。

#### 国際交流サロン交流会(はじめましての会)

市内に住み始めて間もない外国人市民を対象に地域住民との交流を目的として、4月20日(土)(参加者:69人 前年:114人)と10月19日(土)(参加者:72人 前年:76人)に浦和コミュニティセンターで2回開催した。

#### 国際交流サロン交流会(着付体験・交流会)

日本文化体験として外国人市民を対象に着物の着付け体験会を1月5日(日)に氷川の杜文化会館を会場に実施した。着物の種類や用途を学びつつ、日本文化に対する理解を深めると同時に地域住民と交流を図り国際交流を促進した。(参加者:108人 前年:104人)

#### ホームビジット

ホストファミリーのホームステイ受入の準備体験と留学生の日本の家庭での生活体験を目的に、半日のホームステイとしてホームビジットを6月15日(土)(留学生31人 前年:31人)と、11月9日(土)(留学生26人 前年:29人)を実施した。

#### 異文化交流のための語学講座

多言語を学ぶとともに、姉妹友好都市への理解を深めるために、前期3言語、後期3言語による講座を実施した。

〈前期受講者数〉英語(入門)17人、英語(初中級)18人、韓国語(入門)11人  
スペイン語(初級)11人

〈後期受講者数〉英語(入門)17人、英会話(初中級)16人、フランス語(入門)14人、  
ロシア語(初級) コロナのため中止

#### サロン企画事業(ミニ講座・サロン展示・おしゃべりサロン)

国際交流サロンスペース(ぷらっとサロン)を利用し、在住外国人に対する簡易生活相談や各種情報の提供と、サロンでの企画展示や文化紹介等のミニ講座などを実施。

●ミニ講座 8回開催(参加者合計:298人 前年:11回開催 553人)

●おしゃべりサロン(英語、韓国語、スペイン語、中国語、日本語、ロシア語 参加者:1,924人 前年:1,842人)

#### 外国人市民への子育て支援

市内在住外国人の子育て支援のため、クラフトで交流会(リボンレイ、リース)や、ジェイン先生のキッズ英語で交流会を行った。年3回(6月、8月、10月)に渡り開催。

#### 姉妹友好都市交流支援

姉妹友好都市事業チームによる、国際友好フェア・国際ふれあいフェアにおける活動やスポーツ少年団受入事業の支援の他、10月3日トルーカ市代表団の歓迎会を行った。

#### コムナーレ各施設との連携事業

さいたま市市民活動サポートセンターフェスティバルの連携事業として、3月7日(土)ぷらっとサロンにて「Presentation of Art Ⅲ～世界を旅する音楽会～」の開催を予定していたが、コロナのため中止とした。

### ③国際協力事業

#### さいたま市国際NGOネットワーク等、国際協力団体との連携事業

さいたま市国際NGOネットワークと共催で、2月23日(日)に「わくわくグローバルフェスタ2020」(会場:浦和コミュニティセンター)の開催を予定していたが、コロナのため中止とした。

## 【収益事業等】

### (1)収益事業

#### ■物品販売事業

推奨土産品の販路拡大を図り、売上収益、販売手数料収益を増収とした。

##### ①観光グッズ等の販売による収益事業の推進

グッズ売上 1,990,772円

##### ②その他、自主財源の確立に向けた取組

観光案内所による推奨土産品、観光グッズ、委託物品の販売業務

販売手数料収入 1,097,141円

### (2)その他

#### ■その他事業

##### ①情報収集事業

観光コンベンション団体、関係機関との広域的連携による情報収集

大都市観光協会連絡協議会（浜松市）へ参加し情報交換を行った。

##### ②会員サービス事業

会員相互の交流の場の提供及び会員名簿の作成

新年賀詞交歓会を1月27日に開催した。（来賓17人、会員131人）

##### ③経営基盤強化、効率的な組織運営に関する検討

組織の見直しを行い、総務課、観光事業課、国際交流センターに再編した。

##### ④安全衛生管理事業

健康診断後に有所見者へ産業保健師面談及び全職員を対象に産業保健師による衛生講話を実施した。

##### ⑤その他

旧大宮図書館への事務所移転に関する協議